



# アートを軸にした 交流の場

アートを軸にした新しい交流の場が八戸に  
 一。八戸学院大絵画大空部附属専科講師  
 で画家の佐貫巧さん(36)、八戸市志願館に  
 活動する若手アーティスト八戸市吹上区に  
 アートスタジオの開設準備を進めている。目  
 指すのは、アートの発信地として、誰もが気  
 軽に芸術活動に親しめるスペースだ。  
 (三浦十尋)

中心街から程近い幹線  
 道路沿いに立つ、青い壁  
 が印象的な平屋建ての  
 新築。市内でアトリエに  
 できる物件を探していた  
 佐貫さんが、八戸市志願  
 館高美術工芸科で、キ  
 ャラリストスペースが  
 1年半以上かけて自分  
 たちの手取りアトリエし  
 たスタジオには、アトリ  
 エや工房、ワークショップ  
 プログラムスペース、キ  
 ャラリストスペースなど  
 がある。

## 創作活動 気軽に親しんで

佐貫さん 松本さん 齊藤さん  
 若手芸術家 八戸に開設へ



アートスタジオの準備を進めている(左から)佐貫巧さん、  
高藤未来さん、松本列樹さん

取組むの器や機材、  
 工員を斡旋するワールシ  
 ョンスペースでは、キ  
 どもや大人たちがア  
 ートに親しんでもらう  
 佐貫さんと松本さんが取  
 り組んでいる現代芸術  
 家「アーティスト」や、  
 ベントなどで来た作家  
 場を利用。一般にも開放  
 し、創作活動にた  
 カフェスペースで、  
 ペーパードレスのた  
 ちにも自由に使って  
 いスペースで創作活動  
 をするアーティストの  
 交流の場だ。

基本は個人の制作場  
 所となるアトリエは、  
 品作りの様子も相互で  
 学べる「オープンアト  
 リエ」としての活用も  
 検討中。真の白壁のキ  
 ャラリストスペースは、  
 ライフスタイルは、ス  
 タジオで制作した作品に  
 加え、八戸ゆかりの作家  
 や国内外のアーティスト  
 の作品を、さまざまな  
 歴史を定めている。  
 スタジオの使い方を  
 で、多様な可能性を  
 ているという佐貫さん。  
 ここは、実験工房。



専門的な作業もできるアトリエの  
 一部。使い勝手のいいように工夫  
 が凝らされている



2016年に八戸市美術館で行ったアトリエの様子。  
 今後は、スタジオでの開催も予定している

作ってみたいもの、  
 やってみようという  
 挑戦できる環境にた  
 いと必要とする。こ  
 いと制作をキャ  
 リーに置いてみるだ  
 っかした時の印象を  
 リンクしながら制作  
 のがうれしい。作家  
 たちは、ここで力を  
 高藤さんは、「制作  
 する。全体的に、  
 スタジオをうまく  
 なれば」と目を輝かせ  
 ている。